7月 しいの実ぐみ たんぽぽぐみ みずぐみ クラスだより

えんまちまぶねりんぽえん
2024. 7. 30

梅雨が過ぎて、厳しい暑さが続きますが、子どもたちはプールあそび、色水あそびなど、夏ならではの遊びを元気いっぱい楽しんでいます。
少し外に出るだけでも暑さによって疲れを感じやすくなります。水分補給と休息を大切にしながら、来月も過ごしていきたいと思います。

しいの実ぐみ

四つ這いや伝い歩きがより一層上手に出来るようになり、階段上りもたくさん経験しています。遊びの中で、下りる時の身体の使い方も知っていければと思います。たんぽぽ組と一緒に過ごす中で、リズムあそびをして身体を動かすのを見て、楽しそうに拍手したり、身体を揺らしています。最近では、洗濯ばさみをカゴから出したり入れたりすること、たんぽぽ組のお友だちの真似をしているのか、かばんを肩にかけ楽しそうに遊んでいる姿がよく見られます。
まだまだ暑い日が続きます。体調変化に気をつけ、楽しく元気に過ごしたいと思います。

初めての水遊び

プール開きがあり、水遊びをして水の心地良さを感じながら遊んでいます。始めはタライの水面に足が触れるだけで涙する子どももいましたが、今では慣れてきて頭や顔にかかってもへっちゃらで水面に浮かぶおもちゃや少し離れた所にあるおもちゃに向かっていき自ら手を伸ばして手に取って遊んでいます。乳児用のプールにも入ってみたりもしています。座ってみたり、ハイハイしようとする姿が見られたり、プールから出ても「入りたいよー」と、プールサイドに足をあげて入ろうとする様子もあります。これからも水遊びを楽しみながら暑い夏を乗りかりたいです。☆ 8月は、様々な感触遊びや身体の発達に合った動きを存分に楽しみたいと思っています。暑さに身体が慣れない中、生活リズムの乱れは体調不良や熱中症にもつながるため、睡眠や食事を大切にしていきたいです。園の様子とお家での様子を共有し、保護者の方と一緒に成長を喜び合っていきたいです。☆

たんぽぽぐみ

じめじめした梅雨も明け、本格的な夏がやってきました。7月からプールが始まり、最初は水に慣れない姿もあり、シャワーをかけるとびっくりしていた子どももいました。しかし、今は元気にプールに入り、うさぎになってジャンプをしたり、おうまになって四つ這いをしたりなど、水をバシャバシャかけあう姿も見られます。一人ひとりがそれぞれのペースで楽しんでいます。また、夏は感触あそびも大胆に楽しめる季節です。身近な土の感触を感じられる泥んこあそびから、絵の具を使ったぬたくり、寒天遊びなど今後もしていこうと思っています。感触あそびは様々な素材に触れ、指先の感触を通して五感も育みます。
また、もっとこうしたいという好奇心にも繋がっていきます。感触が苦手な子どももいると思いますが、無理なく楽しめていけたらいいなと思います。
子ども同士の関わりも増え、手招きをして友だちを呼ぶ姿や着替えを持って行ってあげる姿なども見られます。自己主張が強くなってくる分、ぶつかることもありますが、子どもたちの気持ちを受け止めていきたいと思います。

⊙絵本大好き⊙

室内に絵本ラックを作っていて、子どもたちは興味を持ったり、読んでほしいと伝えてきます。簡単なくり返し言葉は子どもたちも言いやすく何度も読むことで覚えて、保育者と一緒に言っています。保育者が手遊びを始めると興味を持って見に来ています。初めて読む本などは理解するのが難しい時もありますが、読んでいく内に覚えていきます。言葉を知ったり想像力が育ったり出来るのは絵本の良さです。また大人が読み聞かせをすることで子どもとのコミュニケーションや関わりももっと増えていきます。絵本を通して短時間でも子どもとじっくり過ごせる時間が増えていってほしいと思います。

みずぐみ

プールあそび

今日からプールあそびが始まりました。6月から水遊びを楽しんできた子どもたちです！最初はホースの水に自分からかかりにくる子どももいれば濡れたり顔にかかるのが嫌で控えめな子どももいました。しかし、タライの中でジョウロや容器を使って遊ぶうちにどんどん水に慣れ今ではニコニコ笑顔でプールを楽しんでいます☺
プールに入った時の子どもたちはとってもいい表情でワニ泳ぎをして保育者の足の間をくぐったりジャンプしてみたり保育者に抱えられ水の中で身体を揺らしたりと水の感触や気持ち良さを全身で味わっています。8月も夏ならではの遊びを通して心も身体も開放的に過ごしていきたいと思います。

友だちとの関わり

最近になり友だちがしていることに興味を持ち同じことをしてみたり同じ空間の中でやりとりを楽しんだりする姿が増えてきたように思います。まだ登園していない友だち欠席の友だちがいると「○○くん、○○ちゃんは？」と気になって聞く姿も見られるようになりました。
友だちと顔を見合わせて笑い合い楽しさを共有する中でトラブルになってしまう場面もあります。「いっしょにしよ～。「い～れ～て～」と言って「いいよ～」と必ずやりとりが上手くいくわけではなく「だめ」と返ってくることも…。友だちと一緒にするのは楽しいけれどまだまだ一人遊びが多い2歳児です。場面によって一人で集中しているときには「一緒に」が難しかったりもします。また同じ遊びをしていてもそれぞれの「つもり」が違うことからぶつかることもあります。しかし周りの大人が「こんな風にしようと思っていたんだって」と代弁することで成長と共に相手の色々な気持ちを知ることができます。自己主張が強くなる2歳児と言われていますが保育園でも安心して気持ちを出し友だちとの関わりの中で色々な気持ちを知っていってほしいと思っています。